



さあ、2月！！

さて、2月は古い暦の呼び方で「如月（きさらぎ）」と言います。如月のことを「寒さのために衣を重ねるところから、キサラギ、キヌサラギ（衣更着）との意味」などということもあるようです。旧暦では3月の頃をいっているわけですし、春の芽吹きを表しているのでしょう。

また「節分」は、季節のわかれめということで、1年に4回、立春・立夏・立秋・立冬の前日に、それぞれ「節分」があります。しかし、冬から春への「節分」だけが残っています。厳しい寒さの冬にとじ込められ、春を待ち、すべてが活動し始めることを待ち望んでいるということがよくわかります。2月4日は立春です。春の始まりです。その前日（3日）が節分となります。昔はお正月がこの時期で、新しい年を迎えるに当たって、鬼を追い出そうと豆まきをします。この豆は大豆でとても生命力があるからこの豆で悪い鬼を追い出します。また、悪い鬼が入ってこないように玄関にヒイラギ、鯛の頭をつけたものをおきます。心の中のイヤな鬼も節分に豆をまいて追い出しましょう。

全国的にインフルエンザが流行っています。子どもの健康管理はもちろんですが、ママの健康管理もしっかりお願いしますね。



～子育てワンポイントアドバイス～ ー子どもに寄り添うー

子どもが自立しはじめる幼児期には、直接手をかけてやることを少なくし子ども自身に任せることを増やしていくことが大切です。だからこそ、“目”も“心”をしっかりと子どもに向けて、今は何が必要な手助けなのかをしっかりと考えて対応することが重要です。なんでも自分でやりたがるこの時期「勝手にやいなさい。」と放っておくのではなく、「見守り・励まし・認めて」、自分で“できた”という満足感を味わわせるようにしましょう。「これなあに？」を次々たずねるのも、「反抗期」と呼ばれる強い自己主張が見られるのも、この時期です。子どもの気持ちを「探り・くみとり・ていねい」に対応しながら、親子のかかわりを深めていきましょうね。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の1月のイベントから ～



「子育て講話」25日(木)

子育て支援アドバイザーの黒木由美先生からお話をいただきました。子どもに“安心感・信頼感”を持たせることが愛着形成につながります。そのための子どもとの関わり方について、読み聞かせ・歌・リズム遊びなどを通

し、お話を聞くことができました。

参加された方からは、『『自助』、『共助』、『公助』の言葉が心に響きました。母親の育児を肯定してくださる温かい言葉が心地よかったです。』など好評でした。



第7回「ママカフェ」11日(木)

この日は、雪が降っていたので、参加していただけたかなと思っていましたが、なんと2組の参加がありました。(^^)vスタッフと一緒にゆ

っくりさ
れたことと思
います。本当に
ありがとうございました！



今月のメニュー

1日 10:30～「ママカフェ」
18日 10:40～「子育てイベント」

※ この日は文化祭です。文化祭の中で、佐賀女子短期大学の学生によるミュージカルを上演します。お楽しみに！

※担当:佐賀女子短期大学 教授 小川鮎子先生

20日 10:30～「お誕生日おめでとう」

12:30～「赤ちゃん登校日」会場:西溪校

27日 14:30～「食育相談会」

・講師:佐賀女子短期大学 専任講師 小島実絵先生

※全ての講座、イベントで託児あります。

☆連絡先:多市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117] (みんな・いっしょに・いいな)

